

岩手県感染症週報

平成15年第22週（5月25日～6月1日）

岩手県結核 感染症情報センター

第22週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

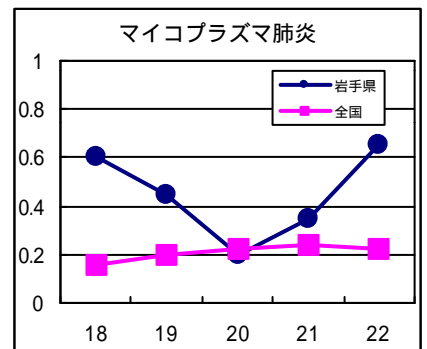
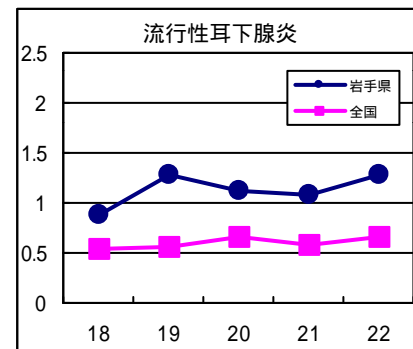
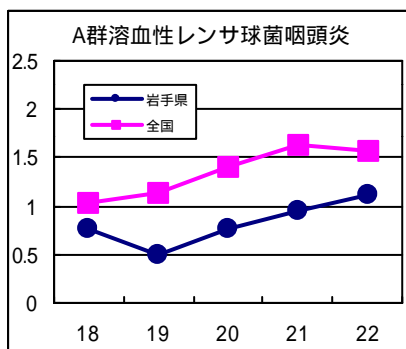
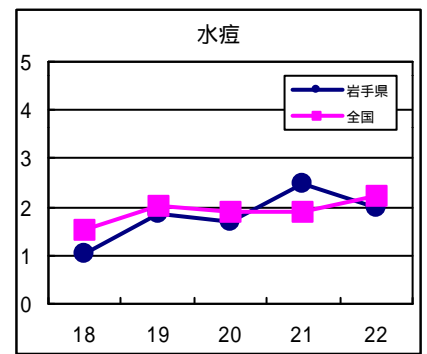
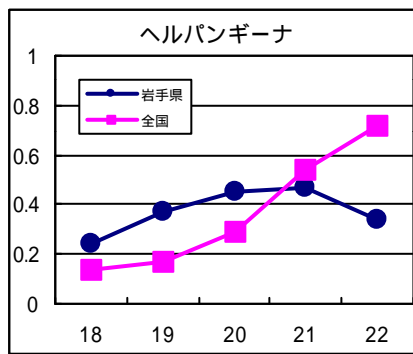
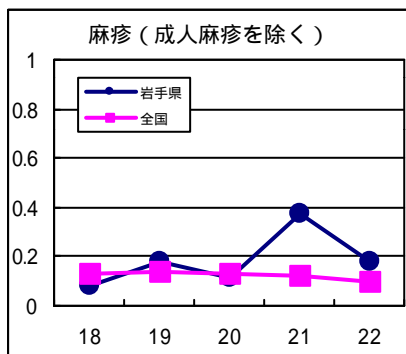
- ・麻疹は前週患者数の多かった大船渡、水沢地区でやや減少しました。しかし、大船渡地区では定点当たり患者数が警報値（定点当たり患者数 1.5）を上回る 1.7 と、引き続き患者が発生しています。同地区の麻疹患者のほとんどは、一歳児と中高校生です。最近は、幼児期のワクチン接種後、自然免疫でないために思春期以降に免疫力が落ちて、中高校生、成人にも麻疹の発生があり注意が必要です。麻疹は感染力が強く、ときには生命にかかわることもあります。満1歳以上でまだワクチンを接種していない人はできるだけ早く予防接種を受けることが大切です。
- ・水痘は北上、二戸地区で注意報値（定点当たり患者数 4.0）を超えています。
- ・溶レン菌咽頭炎は北上地区で患者が増加してきました。
- ・夏期の代表的な子供の感染症であるヘルパンギーナと手足口病は、各地で患者が発生し始めています。感染の予防には、頻繁にうがいや手洗いをするのが有効です。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・ツツガムシ病の報告が盛岡地区から2例ありました。山菜採りや農作業中での感染が疑われています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		18	19	20	21	22	
インフルエンザ	岩手県	0.23	0.13	0.06	0.02	0	→
	全国	0.14	0.06	0.05	0.03	0.02	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.14	0.19	0.22	0.28	0.3	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.76	0.5	0.76	0.95	1.11	↗
	全国	1.03	1.14	1.41	1.63	1.58	
感染性胃腸炎	岩手県	1.89	3.03	2.79	2.05	2.08	→
	全国	4.25	4.14	4.71	4.63	4.52	
水痘	岩手県	1.03	1.87	1.71	2.47	2	→
	全国	1.53	2.01	1.92	1.9	2.22	
手足口病	岩手県	0.05	0.03	0.03	0.08	0.24	↗
	全国	0.3	0.3	0.51	0.8	0.95	
伝染性紅斑	岩手県	0.18	0.13	0.16	0.16	0.29	↗
	全国	0.24	0.21	0.22	0.31	0.34	
突発性発疹	岩手県	0.34	0.55	0.39	0.61	0.47	→
	全国	0.6	0.67	0.76	0.76	0.81	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.02	
風疹	岩手県	0	0	0.03	0.03	0	→
	全国	0.03	0.04	0.04	0.03	0.04	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.24	0.37	0.45	0.47	0.34	→
	全国	0.14	0.17	0.29	0.54	0.72	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.08	0.18	0.11	0.37	0.18	→
	全国	0.13	0.14	0.13	0.12	0.1	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.87	1.29	1.11	1.08	1.29	→
	全国	0.54	0.56	0.66	0.58	0.66	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.04	0.06	0.04	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.83	0.83	1.08	0.42	0.42	→
	全国	0.79	0.91	1.01	1.06	1.04	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.6	0.45	0.2	0.35	0.65	↗
	全国	0.16	0.2	0.22	0.24	0.22	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.06	0.05	0.04	0.04	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		18	19	20	21	22	累計	22	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	8
	細菌性赤痢	0	1	0	0	0	8	5	188
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	28
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	14
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	0	1	54	335
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	5	201
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	10
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	20
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	0	1	1	0	8	4	397
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	48
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	30
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	11	348
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	4	34
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	11
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	1	2	3	12	91
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	13
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	3	190
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	26
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	32
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	33	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	1	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	48	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は昨年11月1日から6月5日までに、世界32カ国・地域でこれまでに8403人が感染し、775人が死亡したと発表しました。

6月4日現在の「最近の地域内伝播」が疑われる地域は以下のとおりです。

カナダ・トロント(B)	中国・北京(C)	中国・広東省(C)	中国・河北省(B)
香港特別行政区(B)	中国・湖北省(A)	中国・内蒙古自治区(C)	中国・吉林省(B)
中国・江蘇省(A)	中国・山西省(C)	中国・陝西省(A)	中国・天津(C)
台湾(C)			

注) (A,B,C)は地域内伝播のパターンを表し、A<B<Cの順で地域内伝播が深刻な状況である。

厚生労働省は5月1日、中国本土と香港からの帰国者に対し、帰国後10日間は 家族・友人を含め、人と会うのは最小限とし、濃厚な接触はさける、 外出時はマスクをできるだけ着用する、 発熱、せき、呼吸困難のうち、ひとつでも症状が出た場合には、 予約を取ってから保健所や医療機関を受診する、 帰国者と接触した人に症状が出た場合も、保健所に電話で相談し指示に従う、ことを求めています。

[症例定義]

厚生労働省はSARS疑い例及び可能性例の届出のための症例定義を定めました。（5/8改正）

疑い例

2002年11月1日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱
- ・咳、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・発症前10日以内に、SARSの症例を看護・介護するか、同居しているか、患者の気道分泌物、体液に触れた者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に旅行した者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に居住していた者

可能性例

疑い例のうち、次のいずれかを満たす者

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者
- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者
- ・SARSコロナウイルス検査の一つまたはそれ以上で陽性となった者

[予防方法]

SARS対策の7原則

最新の発生状況を把握し、できる限り流行地域には行かない。

流行地域から帰国して症状が出たら、家族との接触を避け、医療機関に電話などで連絡してから受診する。

十分な流水による手洗い、うがいを徹底する。（流行地域での注意）

電車、娯楽施設など不特定多数の人が集まる場所はできる限り避ける。（流行地域での注意）

不特定多数の人が触れるものをさわった手で、口、鼻、目などをさわらない。（流行地域での注意）

飛沫を防ぐよう、マスクをする。ウイルスを完全に遮断するには、医療用マスクが必要。（流行地域での注意）

バランスのよい食事、十分な睡眠で免疫力を維持する。

病原体検出情報

- ・麻疹患者（盛岡、水沢、大船渡地区）の咽頭拭い液から麻疹ウイルス（遺伝子型H1）を3例分離しました。分離したウイルスを遺伝子解析した結果、大船渡地区と水沢地区の患者から分離したウイルスはほぼ同一の由来であることがわかりました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノーウォークウイルス（GI）を1例検出しました。

集団感染情報

1 事件の探知

6月1日（日）午後4時50分頃、水沢市内の医療機関から水沢保健所に「胆沢町で開催された山開きに参加した2名が食中毒症状を呈して受診している。」との通報があり探知しました。保健所での調査の結果、複数の患者便と弁当の残品から黄色ブドウ球菌が検出されました。保健所はこれらの調査結果を踏まえ、食品の取り扱い等について改善を指示しています。

2 調査結果

- （1）初発月日 6月1日（日）午前8時00分
- （2）患者数 45名（通院19名、入院3名）
- （3）主症状 嘔吐、下痢
- （4）病因物質 黄色ブドウ球菌
- （5）原因食品 山開きで提供された弁当

3 黄色ブドウ球菌食中毒について

- ・黄色ブドウ球菌はおできやにきび等に存在する化膿菌で、健康な人でものどや鼻の中から高率に検出されます。この菌は、食べ物の中で増えると「エンテロトキシン」という毒素をつくり、この毒素を食品と一緒に食べると食中毒を起こします。
- ・潜伏期間は1～5時間（平均3時間）で、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢が主症状です。
- ・予防方法は、
 - （1）手指などに切り傷や化膿巣がある人は、食品に直接ふれたりしないこと。
 - （2）手指の洗浄・消毒を十分に行うこと。
 - （3）食品は10℃以下で保存し、菌が増えることを防ぐこと。
 - （4）調理にあたっては、防止やマスクを着用すること。

医療機関からの情報

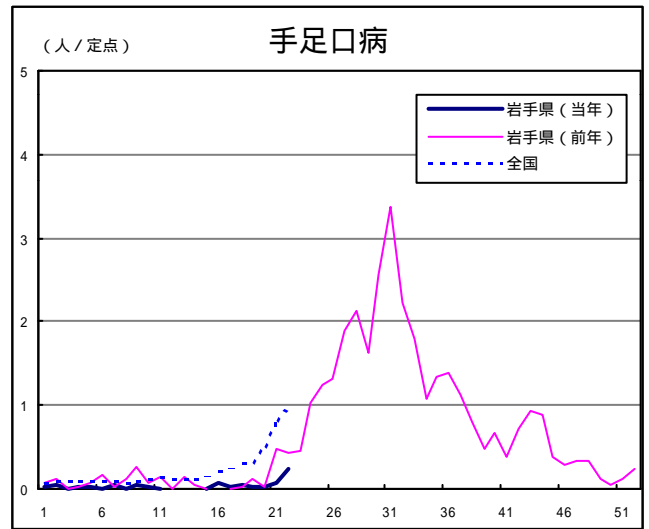
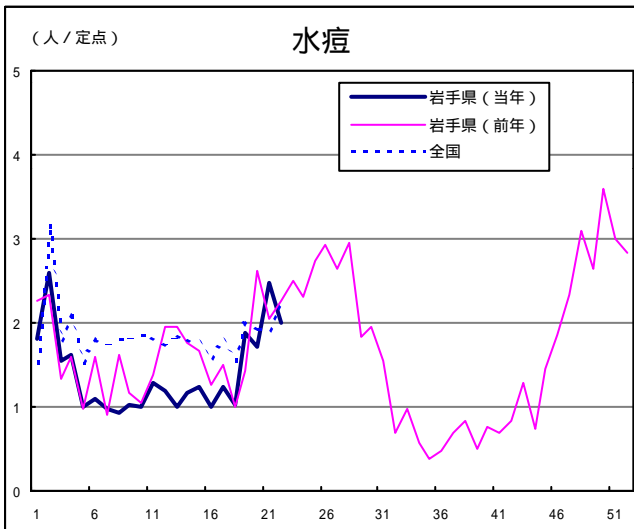
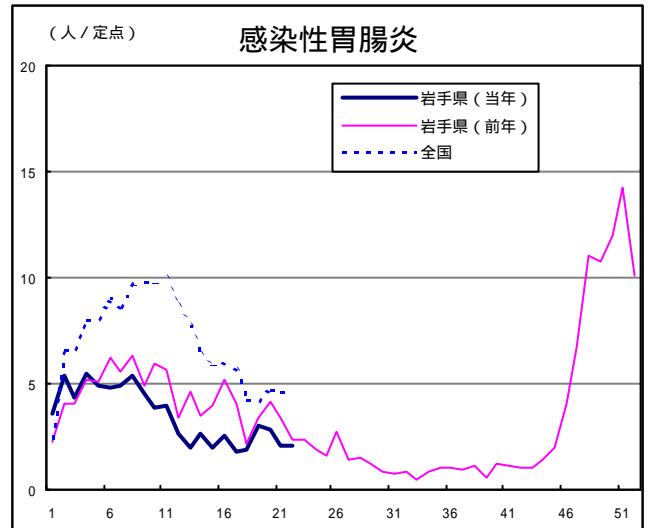
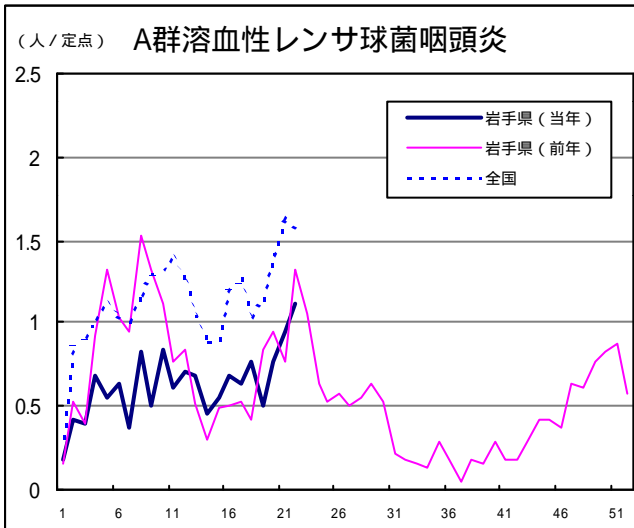
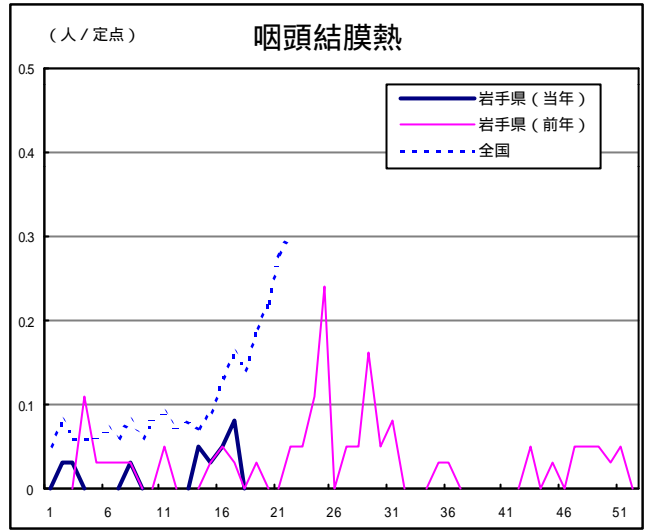
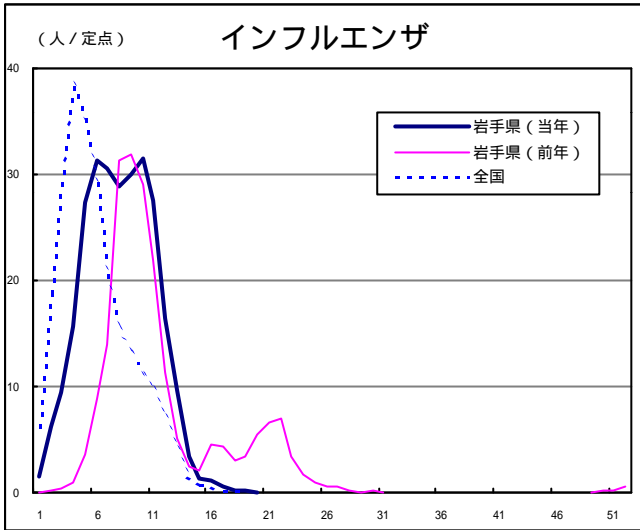
医療機関からの情報はこの欄でお伝えします。

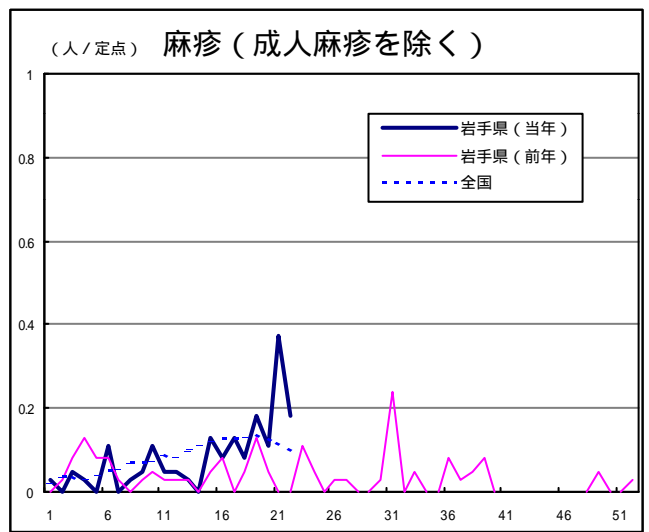
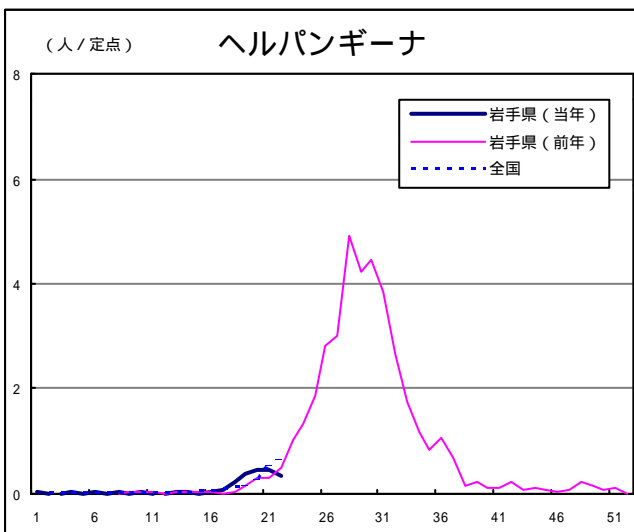
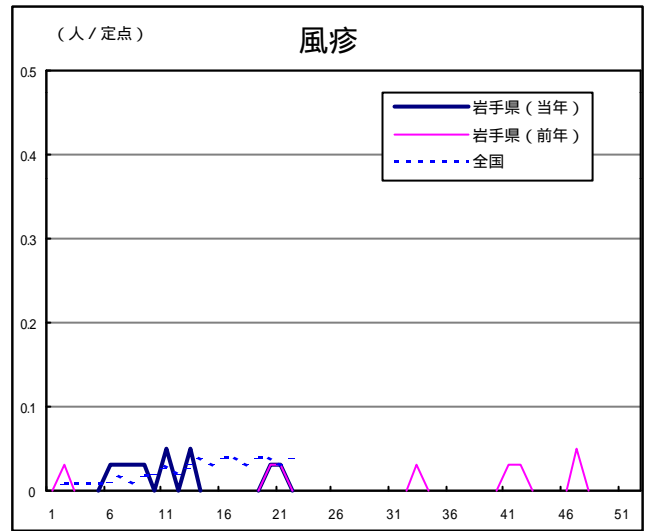
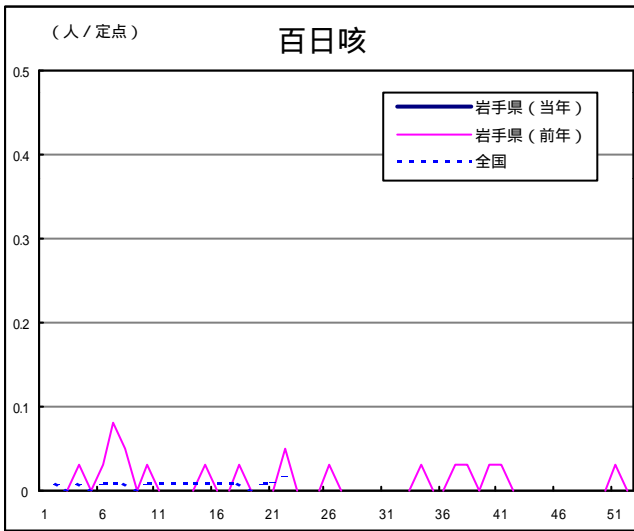
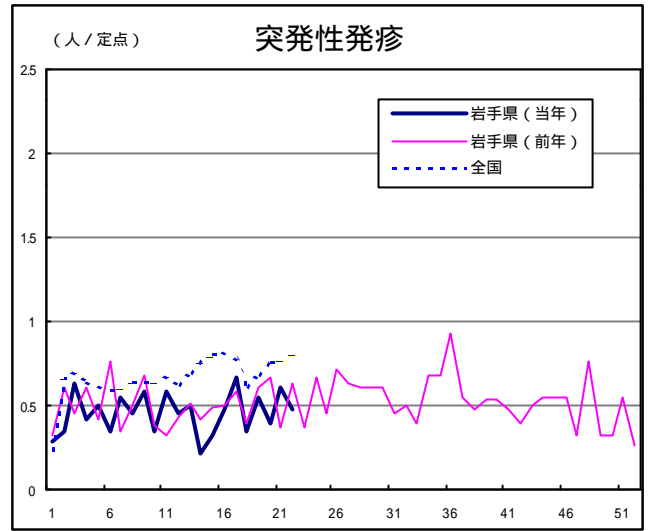
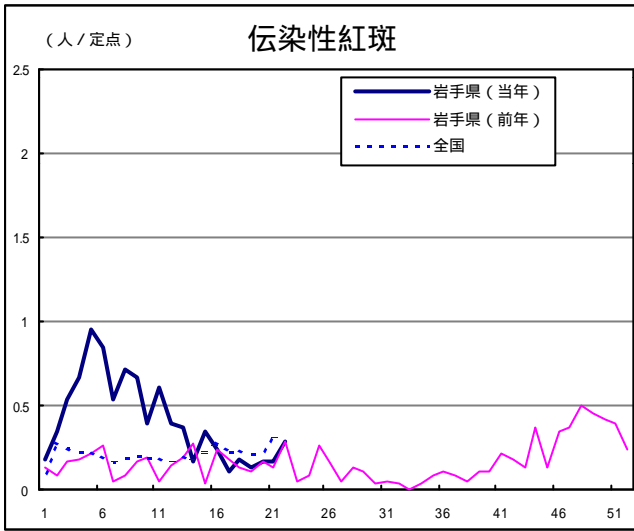
Q & A

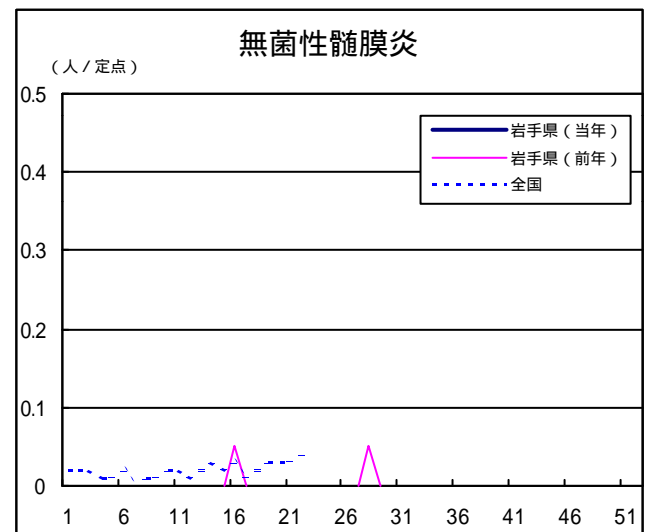
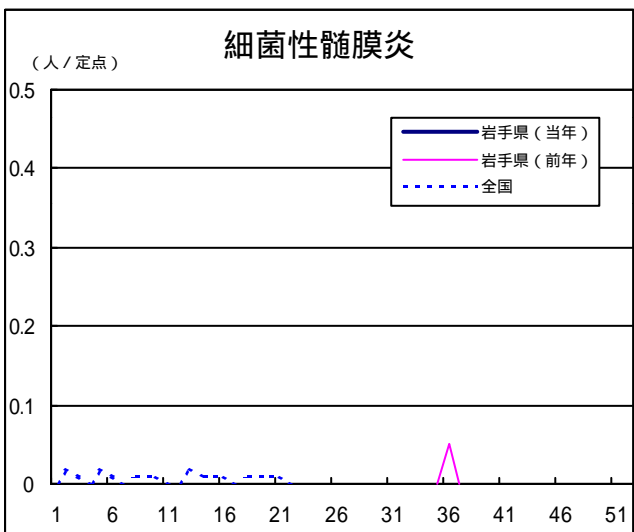
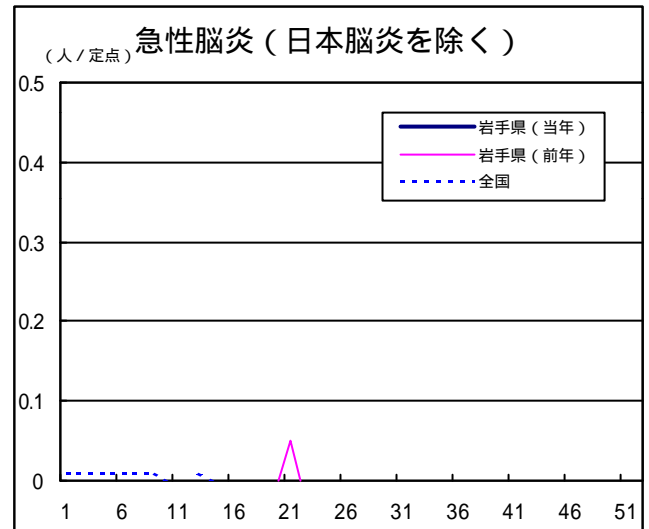
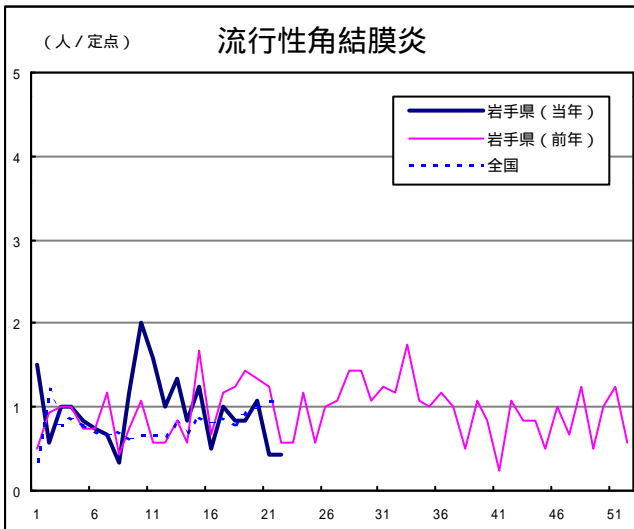
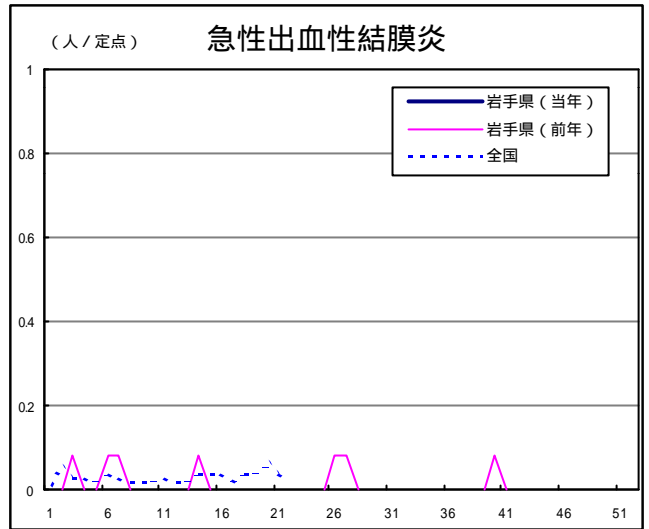
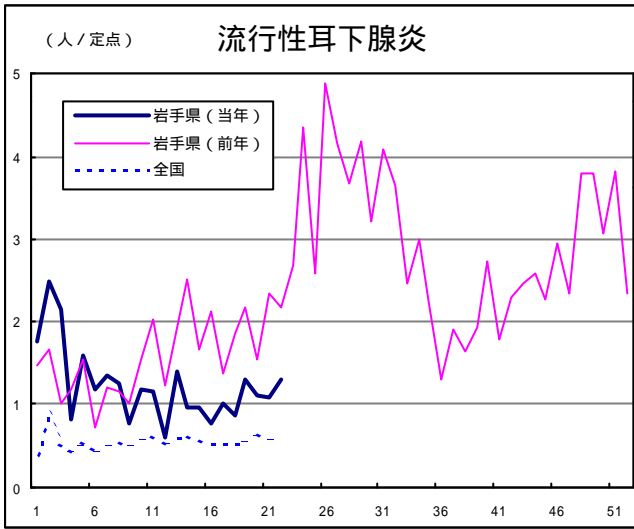
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

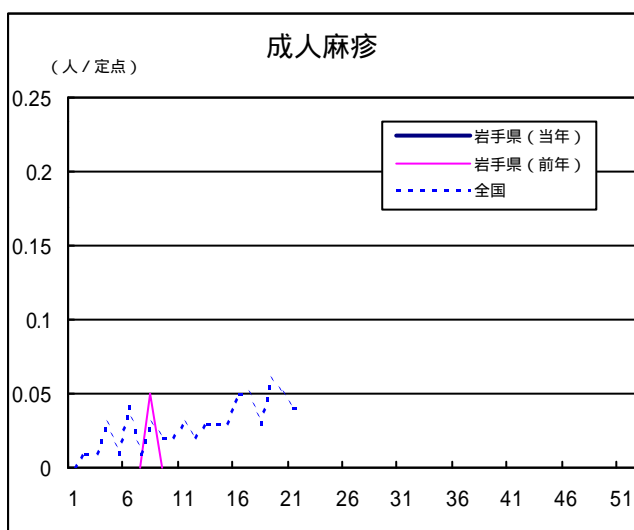
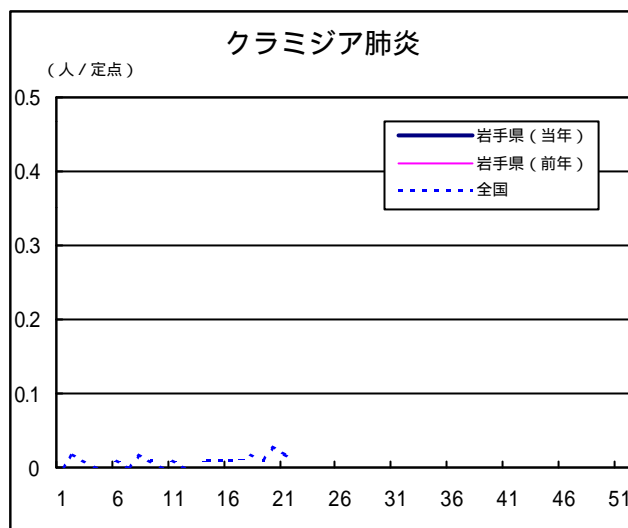
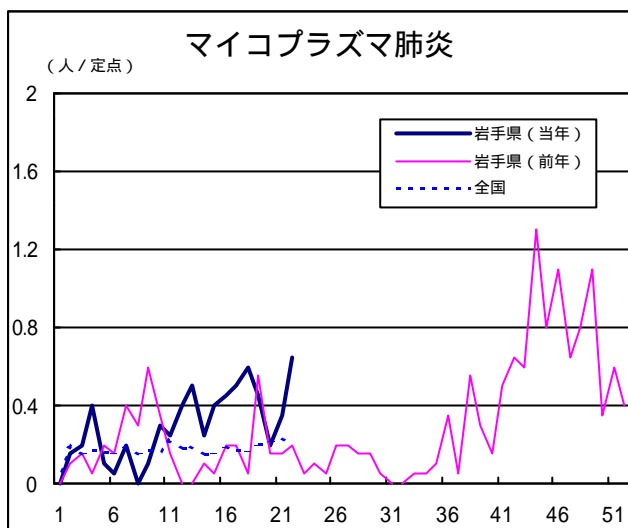
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第22週 平成15年6月6日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>